

★カメラリポート★

11/29 土佐の匠(土佐漆喰原料製造)黒川さんの表敬訪問

令和6年度「土佐の匠」に認定された黒川輝雄さん(稲生)が市長を表敬訪問しました。「土佐の匠」とは県内産業の基盤を支え、その振興に貢献している熟練技能や伝統技能の優れた継承者を高知県が認定する制度です。

本県の伝統的建築材料である土佐漆喰の原料となる塩焼消石灰(地灰)を製造する技能が高く評価されました。土佐漆喰は通常の漆喰よりも強度を持った漆喰で、台風銀座である本県の風土に合わせて独特の発展を遂げてきた建材です。

黒川さんからは「勤務先が創業130周年を迎える節目の年にこのような認定をいただけて大変光栄です」とコメントがありました。



12/11 木育ワークショップ「おはしづくり」

森林環境譲与税を活用した木育活動として、南国市社会福祉協議会内のあったかふれあいセンターでお箸づくりを行いました。8名の参加者は、お互いに会話を楽しみながら、自分専用のお箸を作成していきましました。

また、お箸への蜜ろうがけや箸袋・箸置きづくりも行われ、参加者からは「お正月はこれで!」「和気あいあいでした楽しかった」といった感想が寄せられました。



「四季美人図(夏)」
アクトミュージアム
所蔵



12/19 令和6年度南国市文化財講座

市民の方が気軽に文化財に触れ合う機会として、地域交流センターみあーれで南国市文化財講座を開催しました。今回はアクトミュージアム学芸員の横田恵氏を招き、「絵金と小龍-幕末土佐を彩った絵師-」について講演がありました。

横田氏から、ともに土佐出身の絵師である絵金と、その弟子で今年生誕200年を迎える河田小龍の生涯や画業について、作品を用いながらの詳しい解説があり、30名の受講者は熱心に聞き入っていました。



12/3 中澤氏家業株式会社との災害協定締結式

南国市に災害が発生した際に、物資供給の協力が得られる「災害時における物資の供給に関する協定」を中澤氏家業株式会社と締結しました。被災した市民の方に対する物資の応急配給について連携して取り組んでいきます。



12/19 令和6年度秋季善行表彰受賞報告(子ども会活動)

一般社団法人日本善行会が主催する、令和6年度秋季善行表彰を受賞した森下幸則さんが市教育委員会に報告に来られました。森下さんは「これからも子ども達のために活動を頑張る」と意気込みを語りました。



※一般社団法人日本善行会…87年間、健全な青少年の育成に貢献している団体



11/30 第49回高知県子ども会連合会育成大会南国大会(市役所大会議室)



12/2 年末非行防止啓発活動(マルナカ南国店・サニーアクシス南国店)



12/4 第59回南国市社会福祉大会(地域交流センターみあーれ)

こあんしき 居安思危

—安きに居て危うきを思う—

減災への第一歩! ~もしもに備えて考えてみよう~



地震が起こったら?

→自らの命を守る行動を!!

(例)

- ・身近なもので頭を保護しながら机の下へ逃げ込む
- ・落下物の危険を避けて、空地などの安全な場所へ避難する
- ・海のそばで揺れを感じたら、津波警報が出る前でも近くの高台や頑丈なビルや施設の上に避難する



発生前にできることは?

→室内の安全対策は減災の第一歩!!

①家具の固定

阪神・淡路大震災では、多くの方が家具が倒れることによって亡くなっています。地震に備えて家具をしっかり固定しましょう。

②ガラスの飛散対策

割れたガラスは避難の妨げになります。ガラスに飛散防止フィルムを貼るのが効果的です。

③感震ブレーカーの設置

地震により停電していた電気の供給が再開されたときに、つけっぱなしの家電に電気が流れるなどして火災が発生する通電火災をブレーカーを落とすことで防ぎます。



補助金を活用しよう!

上記の3点の対策は補助金制度があります。詳しくは右記二次元コードからご確認ください。



宝くじコミュニティ助成事業

浜改田地区防災連合会では、地震などの大規模災害時に備えて、毎年防災訓練を実施しています。訓練を通じて地域の防災意識や人々のつながりが少しずつ向上しています。

こうした取り組みの中で、災害時の避難所における課題解決のため、宝くじコミュニティ助成事業を活用して下記のものを整備しました。

- ・資機材収入用物置
- ・ポータブルバッテリー
- ・災害対策用プライバシールーム
- ・ソーラーパネル
- ・災害用トイレ
- ・トイレ用テントなど



■問い合わせ/危機管理課 ☎088-880-6575